

埼玉県済生会栗橋病院 院長補佐  
本田 宏（ほんだ ひろし）先生

- ◆生年月日：昭和29（1954）年6月16日、福島県郡山市生まれ 57歳  
最終学歴：国立弘前大学医学部、昭和54年卒  
現職：埼玉県済生会栗橋病院院長補佐  
NPO法人、医療制度研究会副理事長  
弘前大学医学部非常勤講師（平成22年4月～平成23年9月）

◆主な経歴業績等

昭和54（1979）年:国立弘前大学第一外科入局

昭和56年:東京女子医科大学 第3外科助手

昭和64（1989）年:同講師、済生会栗橋病院外科部長として出向

平成6（1994）年:同助教授

平成7（1995）年:日本外科学会指導医

平成10（1998）年:医療制度研究会幹事

平成13（2001）年:済生会栗橋病院 院副院長

平成23年7月院長補佐、現在に至る。

当初は移植外科医を志して上京、米国での肝移植見学、インドネシアでの臨床腎移植協力に携わるが、平成元年より地域中核病院で20年働いている。



## ◆著書、論文等

著書：「誰が日本の医療を殺すのか 医療崩壊の知られざる真実?」07年9月 洋泉社、「医療崩壊のウソとホント」09年9月PHP研究所、編著：「医療崩壊はこうすれば防げる」08年7月 洋泉社、監修：「なぜ、病院が大赤字になり、医師たちは疲れ果ててしまうのか!・ 医療をつくり変える33の方法」日本の医療を守る市民の会編、10年6月合同出版、共著：「2006年度版医療白書、日本の医療の未来像—国民が真に求める医療を徹底追求、日本医療政策機構編、日本医療企画、「日米比較に学ぶ国民主役医療への道、セルフケアが健康を創る、医療を救う!」町淳二、宮城征四郎編、日本医療企画、など

論文：「真実は現場にある」をキーワードとして、医療制度に関して、医療関係学会論文のみでなく新聞投稿等重ねている。

テレビ等：BS放送や民放テレビ番組への出演も含め一般社会への情報発信にも努めている。平成18年3月日本医学会総会ポストコンgres公開シンポジウム「どうする日本の医療」シンポジスト、18年6月2日NHK特報首都圏スペシャル「患者の命を守るために、徹底討論どうする医師不足」、同10月14日、日本のこれから「医療に安心できますか?」、19年5月27日TBS噂の東京マガジン、7月13日NHK関西クローズアップ「医療費を払わない、払えない」、8月29日NHKラジオ第一「NHKジャーナル」に20年1月14日NHKおはようニッポン「深刻化する院内暴力」等出演。

## ◆主張 (メッセージ)

1983年から続く政府の低医療費政策と医師養成抑制策のため、現在日本の医療は全国各地で崩壊を開始した。医療関係者はもちろん、今を生きる国民に与えられた社会的責任は、正確な情報を収集して医療崩壊の背後に隠された真実を知り、日本が「真の民主主義国家」に脱皮できるように行動を起こすことだ。世界最大の悲劇、それは善意